



40周年記念式典御礼の言葉

浦安ライオンズクラブ

40周年記念実行委員長 L鈴木 佐一郎

満開の桜に襟を正し、4月8日一大行事でありますチャーターナイト40周年記念式典が、無事に立派に出来ました事は、メンバー皆様方のご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

当日は奥様方の格別のお力添えご配慮も頂戴し、華やかで和やかな内助の功に重ねて厚く御礼申し上げます。

式典では、浦安ライオンズクラブの奉仕の理念と誇りを確実に先輩ライオンから今に、そして未来に続く思いが発現出来たことと思います。

入会式も見事でした。L吉田、L長野、L加賀田の御三人が金井ガバナーからバッチを受け取られる時には、本当に心強い思いが致しました。よろしくお願い致します。

昨年、会長L小川純一朗氏より委員長長の指名を受けた時には、荷が重すぎると躊躇しましたが、寸分の力になればと決断致しました。

その後まもなくして、東日本大震災が起きました。委員会構成と同時に式典のコンセプト作りにも気を配りました。思いやりと謙虚さを持って臨もうと。

メンバーの皆様方には、お忙しい中を幾度となく会議を開いたり、役所並びに現場等への出向のご苦勞もおかけしました。

総務委員長L丸茂、来賓委員長L内田、記念事業委員長L指田、式典・祝宴委員長L大塚(恒)、記念誌作成委員長L金子、副実行委員長L古河とL佐久間の皆様には格段の心配りとご助力を頂きました。

式典の後の桜を見ながら思い浮かんだ言葉はただ一言「お蔭様で」の一言でした。メンバー皆様方のご協力あってこそ素晴らしい40周年事業、式典だどつくづく思います。

誠に有難うございました。簡単ですが心からの御礼の言葉と致します。